



## 大学機関概要

- 代表者 /
- 所属 / システム安全系
- 専門分野 / システム安全・ロボティクス
- Email / kimura@mech.nagaokaut.ac.jp
- 担当者 / 木村哲也

## 長岡技術科学大学地域防災実践研究センター

<https://www.nagaokaut.ac.jp/center/chiikibousai/index.html>  
〒940-2188

長岡市上富岡1603-1

こんな組織と繋がりたい

- 避難訓練の実施に困っている介護施設
- 介護施設の支援を担う行政・保険等

長岡技術科学大学と東京電力HD(株)の共同研究「広域災害時の介護施設レジリエンス向上に資するシステム安全の開発」の一環として本システムは開発しています。

## PR 販路 産学 情報 人材 手軽なりモット訓練で災害対応力を強化・見える化

## ▶研究内容の特徴

自然災害の多い日本では、水防法等により介護施設では避難計画立案が義務付けられ、避難訓練の実施が求められている。しかし、実施施設を利用した実避難訓練では、訓練の負担が大きく実施は限定的である。机上訓練では実施負担は少ないものの、臨場感の向上が課題である。また現状の実避難訓練、机上訓練共に指導者の確保、訓練の記録と客観的評価が課題である。開発したシステムは、ウェブサイト上でボードゲーム型の避難訓練を実施できるものであり、避難手順の訓練に役立つ。訓練対象となる介護施設職員と訓練指導者もリモートで参加可能であり、実施の負担は少ない。開発システムでは訓練時の負荷調整、訓練の記録も容易である。

## ▶技術アピール・マッチングニーズ

- ・ボードゲーム型の避難訓練で、画面上のメッセージとアイコンを用いて直観的に操作が可能。
- ・一般的なノートPCやタブレット端末から遠隔参加可能であるため、訓練実施に対するハードルの低減が期待できる
- ・訓練記録の見直し機能により客観的評価、反省が可能
- ・負荷調整が容易に行えることにより、訓練参加者のレベルに応じた訓練が実施できる
- ・訓練結果の客観的評価により、施設の避難対応力の見える化が可能。

## ココがスゴい！

## 開発したリモート避難訓練システム(水害対応版)

データ表示部・介護施設職員利用 (Google スライド)	データ管理部:指導者利用 (Google スプレッドシート)
<p>①施設の見取り図 ②入居者情報 ③時刻 ④指導者メッセージ ⑤職員・入居者カード</p>	<p>時刻更新 メッセージ1 メッセージ2 メッセージ3</p>
リアルタイムコミュニケーション部 (Zoom)	

- ・Web上のボードゲーム感覚で手軽に訓練
- ・メニュー形式で訓練負荷(入居者体調等)も容易に変更